

## 船井財団 社会性・収益性高い企業表彰

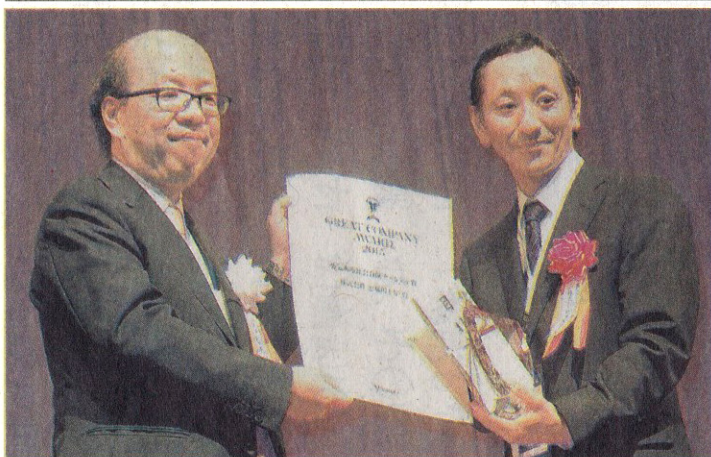
# 恵那川上屋と

# 加藤製作所入賞

社会性や収益性を兼ね備えた企業に贈る船井財団(東京都)の「グレートカンパニーアワード2015」で、県内から菓子製造販売の恵那川上屋(恵那市大井町)と部品加工の加藤製作所(中津川市駒場)の2社が受賞した。恵那川上屋は「勇気ある社会貢献チャレンジャー賞」を受賞。栗きんとん作りで地元の栗農家と契約、全量買い取りの仕組みを作り、農家の意欲向上やブランド確立に貢献した。加藤製作所は特別賞を受賞。積極的な高齢者雇用に取り組み、熟練の技を生かして航空

機分野の新規受注にもつなげるなど新たな可能性を示した。

授賞式は20日、東京



船井財団の船井勝仁代表理事から賞状などを受け取った恵那川上屋の鎌田昇取締役販売本部長(右)＝東京都港区のグランドプリンスホテル新高輪



船井財団の船井勝仁代表理事から賞状などを受け取った加藤製作所の加藤景司社長(右)＝同

都内であり、同財団の船井勝仁代表理事が大賞以下7社の代表者に賞状などを贈呈。恵那川上屋の鎌田昇取締役販売本部長は「後継者問題などをテーマに、他の栗産地と連携した組織を作りたい」、加藤景司社長は「少子高齢化の中で、若い人とシルバー世代のベストミックスの会社像を探りたい」と話した。